

当社社有林について

1919年（大正8年）に前身会社である九州水力電気株式会社が植林を開始後、先達が100年に亘り守り育ててきた社有林は、当初より水力発電を通じて、環境にやさしいエネルギーを生み出し続けてきたことに加え、現在では、スギ・ヒノキの美林を形成するに至り、二酸化炭素の吸収^{※1}や生物多様性など、持続可能な循環型社会の形成に寄与してきました。

※1：年間約130万トン^{※1}を吸収（2018年度推計）（家庭からの年間の二酸化炭素排出量約26万世帯分）

また、当社社有林は、適切な森林管理が行われていることを認証するF S C認証を電力会社で初めて2005年に取得^{※2}しており、当社及びグループ会社の九州林産株式会社の森林管理について外部審査を受けることで、環境活動の信頼性向上を図るとともに、社有林が持つ機能や効果の維持・向上につながり、地域社会との共生にも貢献しています。

※2：F S C（森林管理協議会）による適切な森林管理に関する国際認証

2005年に取得後、5年ごとに更新

〔山下池周辺（大分県由布市）100年の変遷〕



大正時代（約90年前）

昭和初期（約70年前）

現在（2019年）

〔社有林の概要〕

全山林面積 ^{※3}	本数	項目	大分県	宮崎県	熊本県
4,447 ha	510 万本	面積	4,090 ha	283 ha	74 ha
		割合	92%	6%	2%

※3：市町村別では大分県由布市と九重町の割合が大きく、2市町で全体の約80%を占める

〔SDGsの関連目標〕

・九電グループは、CSRの取組みを通じて、SDGs^{※4}の達成に貢献していきます。

※4：2015年に国連サミットで採択された国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、17の目標で構成

・当社は、社有林の育成を通じて、以下の6つの目標達成に貢献しています。

